

山名	白髪岳	山行名	例会
ルート	住山登山口→白髪岳→松尾山→高仙寺本堂跡→住山登山口		
山行日	令和2年10月29日	天候	晴れ
参加者	CL 藤村 SL 西川 洋 秋山 玉置 永井		

	コースタイム			
	地名	時:分	松尾山着	13:10
	登り口発	10:10	高仙寺跡着	14:00
	白髪岳着	11:30	登山口着	15:05
	白髪岳発	12:00		

京田辺を出発して、新名神を通り宝塚北SAに向かう途中の橋を渡る時、この時期独特の朝霧が眼下の谷を覆い深まる秋を感じる。吉川 JCT から舞鶴自動道を北に進むと左右に円錐形の山々が見え始める。暫く進むと、前方左側に肩を怒らしたような山が見え、YAMAP で確認するとその山が白髪岳であることが分かる。山案内書には丹波富士と説明されており、富士山のような優雅な山と想像していたが実際はだいぶ違う山である。丹南篠山口で高速道路を降り、南に戻り山麓沿いに田舎道路を進み、駐車場に到着する。駐車場から川沿いに林道を 30 分ほど歩くと登り口に到着する。登り口のあずまやで休憩する。西川さんが全員に手作りスイーツをふるまう。何時もながらの親切に頭が下がる。登り口からすぐに急登となるが、道には石も根子もなく歩き易く又所々に丸太組の階段がありよく整備されていた。3 回休憩し約 1 時間程歩くと稜線に到着する。稜線上を北に進むと WEB で紹介されていた本日一番の難所である岩場が現れる。真正面の岩を見ると登れるのだろうかと不安になるが、近づくと右方向に回り道がありロープが張られていた。ごつごつした岩で岩角を掴み、少し緊張して通過する。平凡な里山歩きに飽きかけていた気持ちを引き締めるよい岩登りである。頂上は見晴らしが素晴らしく、播磨地方の山々を望むことが出来、又下を見れば丹波篠山市の田畑がよく見えた。秋空の下、風景を眺め昼食とする。白髪岳から松尾山方面の下りは急で、木の根子が張り出し、跨ぎながらゆっくりと降りていく。20 分ほど下るとようやく平坦な鞍部に到着する。そこは文保寺への分岐点である。松尾山への登りは、足跡がある幾筋の道があり、更に目印の赤テープを見つけられず何回か道を間違え引き返す。松尾山の頂上は平坦な広場で、大木の脇に酒井氏の山城跡と記された板がある。雑木林に囲まれており午後 1 時頃にも拘わらず少し暗く展望は全くない。頂上を南に下ると巨大な千年杉に出会う。そこから急峻な下りが続き、膝に張りを感じるころにようやく平坦な分岐点に到着する。分岐点には沢山の石仏が一行に並んで鎮座していた。高仙寺本堂跡までは比較的平坦な道が続く。高仙寺本堂跡は飛鳥時代に創建された寺跡で、杉林の中の石垣に囲まれた苔だらけの平地で少し不気味な感じである。寺跡地から苔蒸した道を下り、3 本丸太の橋を渡り、又巨岩の横を通り、最後はロープに手を掛けて急な坂道を降りて、不動滝前に到着する。少しの水が流れる潤れた滝である。ここで今日初めて老人の登山者グループに合う。平日で入山者が少なく、朝から 3 組しか会わなかった。駐車場には午後 3 時頃に戻り、このまま帰るにはまだ少し早いので、篠山市内を観光する。車で御徒町の武家屋敷、城の外堀を一周、町の商店街を見学する。明智光秀ゆかりの地で観光客の姿もあり、又店先には丹波黒豆、栗などが並んでいた。参加された皆さんご苦労さまでした。ヒヤリハット なし

## 白髪岳 感想文

西川 洋

標高 722 メートルの高さだと少しなめていたが、急登あり、三点確保の場もあり、ワイワイガヤガヤと楽しく登ることもできました。途中の樹々の合間から見える景色もとても美しく楽しくのぼれました。いろいろと細部にわたりお世話いただきました藤村さんはじめ参加された皆様方ありがとうございました。

秋山 正子

白髪岳は低山ですが岩山で十分に岩トレができて楽しかったです。帰りに時間があったら宿場見学でもしようとのことでしたが、下山した時点で十分に疲れていました。満足の山行でした。ありがとうございました。

永井 繁一

白髪岳 標高 722m。愛宕山より少し低いが、トレーニングに良いかなって軽く考え参加。初めての兵庫の山と言う事も、参加を後押しした。

低山トレと高を括っていたが、スタートから急登が続き息も切れ切れで尾根線へ。少し進むと岩場が出現。三点支持を意識しながら登る。楽しい！こんな低山もあるのかと認識を新たにする。

白髪岳山頂からの景観は、低山とは思えないような奥深い山並みと、眼下の街並み。天気は晴天（頂上は風があり結構肌寒い）、満喫できた山行だった。

プランニング頂いた CL さん、車を提供いただいた N さん、疲れを忘れさせる楽しい会話を頂いた皆さん、ありがとう御座いました。

低山、良いですねえ(´▽`)

玉置 安世

白髪岳までの登りはなかなかの急登で登り切ると岩岩の連続  
ロープも付けてくれてるし、岩も安定していて登りやすい  
700m くらいしかないのに、変化にとんでいる。

白髪岳の頂上は天気もよく 360 度の大パノラマ。

白髪岳からはどこまで下るの？と言うくらい下って

松尾山へ登り返し。☆1 つって書いてたけどほんとに？って感じ。

紅葉にはまだちょっと早かったですが、山頂からの眺めは最高でした。

おすすめの山です。

城跡めぐりまで観光していただき楽しい 1 日でした。

みなさんありがとうございました。

